

○自己評価
自己評価において、各設問に対してA～Dの段階で評価をおこなっている。

A…目標が十分に達成されている。
B…目標がほぼ達成されている。
C…重要な点で成果が上がっていない。
D…全体として成果が上がっていない。

〔評価項目〕

1. 教育理念

①園の教育方針

・園の教育方針を理解している	A
----------------	---

2. 保育の計画性

①教育課程

・園の教育課程を理解している	A
・教育課程をもとに指導計画をたてている	A

②指導計画

・指導計画は教育要領・教育課程・幼児の実態などをもとに考えて作成している	B
・指導計画は常に見直しを行っている	B

③月案・週日案

・教育課程をもとに幼児の実態に合わせて作成している	A
・自分なりに標記の仕方を工夫し課題をもった内容になるよう努力している	B

3. 保育の実践

①5領域

・健康・人間関係・環境・言葉・表現についてそれぞれ工夫して保育を実践している	B
----------------------------------------	---

②子どもとのかかわり

・子どもの心身の状況や変化を常に把握している	B
・子どもの話をよく聞き、常に子どもの気持ちを受け止められるよう気をつけている	A
・子どもの発達や性格に応じたかかわり方を実践している	B
・子どもの人権を尊重して保育にあたっている	A

③教師間の連携

・子どもについて常に教師同士で話し合い、クラス、学年を越えて情報交換する機会がある	A
・教師間で保育技術や保育方法の意見交換をする機会がある	B
・独断で行動せず、事前相談・事後報告をしている	A

④保育の記録・反省

・一人ひとりの子どものをよく観察するよう心がけている	A
・クラスの運営や子どもの生活または育ちを毎日記録している	B
・反省を踏まえ、次の日の保育に生かす工夫をしている	A

4. 学級運営

①保育室の管理

・保育室内の整理整頓を心がけ、掃除がいきとどいている	B
・子どもの動線を考え、安全に配慮した環境になっている	A

・保護者への支援が可能な部分については、上司・他の教職員の合意のもとで行っている	A
・保護者の協力が必要な場合は上司と協力のあり方を協議の上で保護者に依頼している	A

②事務処理

・出席簿、週日案等は毎日正確に記入している	B
・配布物は決められた期日に配布している	A
・つうしんはすぐに目を通し適切に対応している	A
・保護者からの提出物、現金など注意深く管理している	A

③良識とモラル

・個々の子どもや保護者、家族の情報は口外していない	A
・保護者との接し方は平等になるよう心がけている	A
・保護者に対して丁寧語で話している	A
・保護者の言葉づかいにこだわらず話を十分に聞いている	A
・すべての保護者に対し、親しみを込めた挨拶や会話を心がけている	A

5. 保育能力向上

①研修・研究への意欲

・研修会に進んで参加する	B
・保育関連の専門書や専門雑誌を読んでいる	B
・研修会で習得したことを実際の保育に生かしている	A
・教材研究をしている	B

④クレームの対処

・クレームに対して謙虚に話を聞いている	A
・保護者の意を理解し、その上で保護者の納得を得ることが出来る	B
・必ず、上司に相談・報告している	A

6. 保護者とのかかわり

①情報の発信と受信

・子どもの変化や出来事、日常の様子を出来る限り保護者に伝えている	B
・保護者からの依頼や質問、相談などには適切に対応している	B
・家庭との連携が不可欠であることを認識し、保護者の情報交換に努めている	A

7. 安全・衛生管理

①園内の安全対策

・園内に危険な物、壊れた物はないか常に観察し、発見次第報告している	B
・園が行っている安全対策について理解している	B
・消火器、非常ブザーなどの位置を把握し、使い方を理解している	B

②協力と支援

・保護者からの意見、要望については安易に受けたり、断ったりせず、上司に報告・相談をしている	A
-----------------------------------------------	---

②飲食物や薬品の管理

・飲食物の保管には十分配慮している	A
・救急薬品、清掃用薬品の保管、取り扱いには十分配慮している	A

③事故やけがに対するの対応

・事故やけががあった時は迅速かつ適切に責任をもって対応している	A
・事故やけがの状況や原因を把握し上司、保護者に報告している	A
・事故やけがについては記録している	B

④降園途中の安全対策

・通園バス添乗における安全対策・注意事項を理解し配慮している	A
・降園時の子どもを確実に保護者に手渡ししている	A

8. 子育て支援

・地域における保護者の実情や要望による子育て支援ニーズを把握している	B
・カウンセリングの基礎を理解し、保護者に対して相談対応などを行っている	B

9. 預かり保育

・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育事業の実施に協力している	B
・預かり保育事業を行うにあたり、体制整備に関して職員間で議論している	B

10. 期待される望ましい保育者像

①幼稚園教諭としての能力

・幼稚園教諭として専門知識や技能を身につけようと努めている	A
・子どもの性格や個性を把握するよう努め、コミュニケーションがとれる	A
・仕事の手順を考え、優先順位を見極め能率良く行っている	B
・リーダーシップを発揮し、魅力あるクラス運営ができる	B
・クラス全体の動きを常に把握している	B

②良識とマナー

・保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている	A
-----------------------------------	---

・その場に適した言動をとることができる	B
・服装・髪型・身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている	A

③職務の遂行

・園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使い易いようにしている	A
・職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密は厳守している	A
・重要書類や個人情報にかかわる資料等は確実に保管し、園外に持ち出さない	A
・教材・教具の管理、点検に気を配っている	B
・提出物は期限内に提出している	A
・ミスした内容については必ず上司に報告している	A
・出勤時刻を厳守している	B

④組織の一員としてのあり方

・教職員全員でひとつのチームであることを意識している	A
・自分の意見と異なる結果になっても決定したことには快く協力実行している	A
・当番や担当などの仕事の分担は責任をもって実行している	A
・教職員のプライバシーや園に関することをみだりに他へはなしていない	A

【2012年度を終えて】

・2011年度に引き続き、来年度の入園児が定員以上となり「本園の良さを十分知っていた。」というねらいは、十分達成できたと思われる。来年度以降も続けていくことの難しさや重要性を職員間で話し合い、再確認をしていきたい。

・2012年度の研究テーマ「言葉の楽しさやおもしろさに気付き、いろいろな表現を楽しみながらイメージを豊かにする。」として、日々の保育の中で言葉自体に注目し、各担任が独自の捉えで教材研究に取り組んだ。2月末の研修会では、それぞれの研究内容、課題を出し合い、来年度に繋がる成果を話し合うことが出来、改めて課題をもって保育にあたることの大切さを学んだ。今年度の保育向上能力の項目においては、昨年度より評価が高まっている。

・園内の安全対策の項目ではすべてが平均でB評価である。それぞれの立場で一人ひとりが危機感をもち、「気付いたままにしないこと。」の共通理解を徹底したい。